COMANY

corporate profile

空間のその先にある物語を描きたい

空間をつくるということ
それは、そこで過ごす人たちの物語がはじまるということ。
私たちは十人十色の豊かな物語を空間という舞台を通じて、
間(ま)づくりという視点を持って
お客様と共に描きたいと考えています。

会社方針

■ 社 是

一、我等の精神は人道と友愛である

一、我等の生活は共存共栄の中に成り立つべきである

一、我等の使命は社会に貢献すべきである

一、我等は知識を高め技術を磨き絶えず前進すべきである

一、我等は余暇を楽しみより豊かで幸福（しあわせ）な人生を送るべきである

■ 経 営 の 理 念

全従業員の物心両面の幸福（しあわせ）を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する

会社が存在する目的として示しているのが、経営の理念です。コマニーが存在する目的は、そこに集う全従業員が仕事を通じて物と心の両面の幸福を追求することです。それは、人間として正しい道（人道）を貫き、自分のためでなく、人のためにという利他の実践を通じて事業の発展によって社会に貢献することで実現できると考えています。

01
06

■トップメッセージ

間づくりで Empower all Life を実現する

コマニーグループは、「企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきである」を信念に、関わりを持つすべての人が幸福になる事業運営を目指して活動しております。1961年にキャビネットメーカーとして産声をあげ、ほどなくしてパーティション専業メーカーとなってから60年あまり、ずっと間仕切をつくり続けてきました。現在ではオフィス、工場をはじめ、病院、福祉施設、学校、空港や駅など、さまざまな空間に活躍の場を広げております。

間仕切とは一見、間を二つに分けることを意味するようにとらえがちですが、大切なのはそれによって新たな「間」を生み出しているということです。ですから、間仕切の本当の意味は間を区切ることではなく、「間」をつくることであると考えています。「間」とは「二つ以上の要素がある場合に生成される関係性」、そして「間」をより良い方向に整え、「すぐれた間を生成すること」を「間づくり」と定義し、その可能性を追求しています。そして「すぐれた間」には人生や世の中を変え、人々の活動に素晴らしい影響を与えることが出来ると信じています。

間づくりで Empower all Life を実現する

私たちは単なる「間仕切メーカー」ではなく「間づくりカンパニー」として 2030 年までに「間づくりで Empower all Life を実現する」というムーンショットを掲げました。「間づくり」を通じて「すべての人が光り輝く人生を送るために、より良く働き、より良く学び、より良く生きる為の持続可能な環境づくり、人づくり」に貢献すること、これが私たちの使命です。コマニーグループは「間づくりで Empower all Life を実現する」ために、これまで培ってきた技術力を駆使し、未来へ向かって人々が光り輝ける社会づくりの一翼を担えるよう、グループ一丸となって努力してまいります。

代表取締役 社長執行役員

塚本健太

間づくりへの想い

間仕切メーカーから　間づくりカンパニーへ

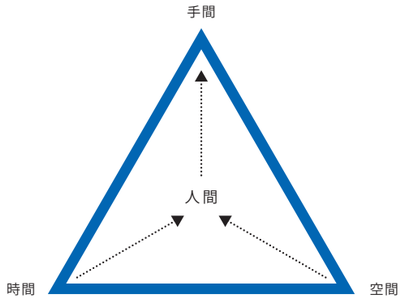
間づくり、人づくりの時代へ

社会課題・環境変化に対応した新しい価値創造

「間」とは何か？創業以来ずっとこの問いに向き合ってきました。間づくりで Empower all Life を実現することに向けて、これまで築き上げたパーティションの技術をさらに発展させ、事業活動を通じてさまざまな社会課題解決に取り組み、「人」がより豊かな人生を送るための「間づくり」と「人づくり」に貢献していきます。

間づくりとは
すぐれた間を生成すること

「間（二つ以上の要素がある場合に生成される関係性）」をより良い方向に整えると、「すぐれた間」が生成されます。このように「すぐれた間を生成すること」を「間づくり」と定義し、その可能性を追求しています。



間づくりモデル

「間づくりモデル（右図）」は、多様な意味を持つ「間」を扱ううえで、すぐれた間を生成するための考え方です。「人間」を中心に「時間」「空間」を捉え、それにどのような「手間」をかけるかによって、さまざまな間が生まれます。これらの要素を大切に「間づくり」の実績を積み上げていきます。

間の研究から生まれた「はたらく」の新しい考え方

Pitch & Park

Pitch とは
サッカーのピッチの様に、人それぞれの役割やポジションが決められていて、効率向上に最適化された従来型のワークプレイス

Park とは
公園の遊具で遊ぶように、同じような目的、気分の人が集い、偶発的な交流や出会いが生まれたり、創造性を刺激するワークプレイス

はたらく目的に応じたはたらく環境の選択肢を

「はたらく」に対する考え方が多様化する中で、ワークプレイスのあり方にも変化が生まれてきています。従来は「作業効率」や「設備」を重視した環境が主流でしたが、今後はそれにプラスして「創造」や「交流・出会い」という考えが付加され、そのバランスも変わっていきます。そして、当然のことながら業種業態や規模、企業理念によってもワークスペースのあり方は変わってきます。テレワークという選択肢が定着する一方で、オフィスや集う目的や意義を見直して生まれたのが『Pitch & Park』です。はたらく目的に応じて選択ができることの重要性に着目し、「はたらくをデザイン」できることが間づくりの一環であると考えています。

間づくり研究所

間づくり研究所の活動

2023年4月10日（よい間の日）に開所し、活動を開始した間づくり研究所。まずはCOMANYに集う1,400人全員が研究員となり、間づくりの追求と実践を積み上げていきます。

サステナビリティ

2030年までにコマニーが目指す姿

Empower all Life

一人一人が光り輝く社会に貢献

私たちが目指す企業像は、これまでのように大量生産・大量消費による効率のみを追求する姿ではなく、
「持続可能な社会の実現や、関わるすべての人の幸福に貢献し、心豊かな世の中をつくっていくこと」です。
かけがえのない一人一人の人生が自分らしく光り輝きつつ、
人と人とのつながりがより深まっていくような社会づくりを目指し、取り組んでいきます。

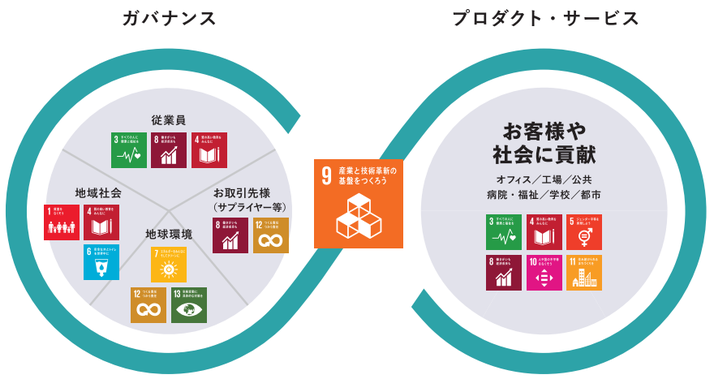
SDGsを実現する「COMANY SDGs∞（メビウス）モデル」

COMANYは、間づくりカンパニーとしてSDGsが提起する社会課題解決のために、IoT・AIやユニバーサルデザイン、耐震関連などの研究と商品開発を当事者と連携して実現することで社会的インパクトを創出するとともに、すべてのステークホルダーの幸福度向上を経営課題と位置づけ、従業員、お取引先様（サプライヤー等）、地域社会、地球環境への施策を具体的に落とし込み、実施することで「誰一人取り残さない」経営を実現します。そしてこれらをSDGsが掲げる Goal9の「技術革新」を起点とすることで、事業を継続的に循環させ、社会的インパクトを創出し、企業価値を向上させ、雇用促進など地方創生にも寄与していきます。

Seeking to strengthen universal peace in larger freedom

—大きな自由における普遍的な平和の強化を追求—

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献する



03
06

コマニーグループ
サステナビリティ方針

私たちコマニーグループは、
企業は世の中の幸福に貢献するために存在すべきであるという信念のもと、
創業当初より貫いてきた人道と友愛の精神をもち、幸福にすべき全てのステークホルダーの皆様、
社会全体との共存共栄のうえに持続可能な未来を築いていくことに努めてまいります。

1 お客様第一の追求

私たちは、お客様に感動と満足を得ていただくため、商品の開発から販売・生産・施工・サービスに至るまで、常にお客様を第一に考え、安心・安全で高品質な、環境に優しい商品をご提供することによって、快適空間・機能空間を創造してまいります。

2 お取引先様（サプライヤー等）とのパートナーシップ

私たちは、お取引先様とともに技術を高め、世の中の成長・発展に貢献するため、誠実で公正な取引を旨とし、パートナーとして共存共栄の関係を築き、最適な商材を安定的に供給することを目指してまいります。

3 地球環境との共存

私たちは、後世に美しい地球環境を残すため、「パーティション」のライフサイクルに配慮した商品展開を推進するとともに、脱炭素社会・循環型社会、生物多様性の保全のため、生産活動における環境負荷を低減し、汚染の予防に努め、自然と共生できる企業活動を推進してまいります。

4 人間性尊重の職場づくり

私たちは、すべての従業員が主役となり、働きがいと成長を感じられる職場環境を実現するため、一人一人の人間性を尊重し、活躍の場を与えられる制度づくりと、常に明るく前向きに活動できる組織風土づくりに努めてまいります。

5 社会貢献活動

私たちは、将来にわたって子どもたちに明るい未来を残すため、従業員自らの良心によって主体的に活動することを基本に考え、地域貢献、日本貢献、世界貢献に取り組んでまいります。

6 コーポレート・ガバナンス

私たちは、経営の理念をもとに、企業価値を増大させ、経営マネジメントシステムを継続的に改善し、公正で迅速な意思決定の向上に努めていくことをコーポレート・ガバナンスの基本方針としております。今後も経営の健全性および透明性を確保するために、経営監督機能および法令遵守体制強化の重要性を認識し、コーポレート・ガバナンスの充実を図ってまいります。

04/06

事業領域

1 オフィス市場

多様な働き方を実現し一人一人が光り輝くための働くを間づくりする

働き方、働く場所を自由に選択することができる今日、
「オフィス」で働く価値が見直されるようになっています。
単に、空間を仕切る間仕切として提供するのではなく、
働き方や場面に合った間づくりを意識し、
働く人が高いパフォーマンスを発揮できるオフィス空間を提供していきます。

技術

人と空間の新たな距離感を追求した新しいカタチのパーティションで、オフィスの中に新たな物語を描きます。

将来性

多様化する「働く」に、創造性を生むコミュニケーションプレイスを実現する。リモートワークを経験したことで、オフィスの方がコミュニケーションが捗るということを多くのワーカーが実感しています。出社に意義が求められる時代に、そこに集まるワーカーが創造性を生むコミュニケーションプレイスを実現するための間づくり商品、それがXis-Frameです。

04
06

事業領域

2 工場市場

専門性の高い
安心安全の間づくりで
人と技術を守り育てる

さまざまな法令への対応やBCPの策定などの非常時の備えをはじめ、
働きやすさと働きがいを感じられる環境づくりを通して、
日本のものづくりや技術の発展と
それに携わる人々の幸福に貢献します。

技術

通路や会議室を中心に、高耐震間仕切「シンクロン」を導入することで、地震発生時に避難経路の倒壊を防ぎ、事業のスムーズな再開に貢献します。

将来性

クリーンルームは、温度・湿度・室圧を適正に管理するため、専門的な技術や知識、柔軟な設計が必要です。当社は壁、天井、床、そして空調まで含め、クリーンルームをパッケージとしてご提案いたします。今後も発展を続けるさまざまな産業の生産環境に対応するべく、専門性や技術をさらに高めていきます。

04
06

事業領域

3 病院・福祉市場

利用者もスタッフも安心できる「やさしい」間づくりをサポート

医療施設や高齢者福祉施設にはそこで過ごすすべての方にとってやさしい環境づくりが必要だと考えます。
ご利用いただく方の不安をやわらげ、
施設を支えるスタッフの皆さんにも、やすらぎを提供いたします。

技術

「やさしいドア」はデザインの自由度が高く、目地や表面材を工夫すれば、部屋ごとにデザインを変えることも可能です。また、家族の写真や思い出の品を部屋の目印として飾ることができる「やさしいポケット」など、使う人に寄り添った商品開発を行っています。

将来性

医療スタッフの方がリフレッシュしたりコミュニケーションを取るための休憩室は重要な場です。ソーシャルディスタンスを意識しながらもスタッフの方々がコミュニケーションを取れる居心地の良い空間をご提供していきます。

04
06

事業領域

4 学校市場

間づくりで子どもたちや先生に最高の学び舎を提供

少子化問題や、新たな授業スタイルの導入を見据えた
教室づくりが求められる中、私たちは常に子どもたちや先生が
生き生きと過ごせる空間を考え、
学校における間づくりを進めていきます。

技術

小学校の教室の入口にある引き戸の引手は、1年生にとっては高く、6年生にとっては低い位置にあるかもしれません。コマニーではこの引手に注目し、子どもが成長しても無理なく扉を開け閉めできる「ロング引手」を開発しました。

将来性

これからの新しい授業スタイルとなるグループ学習や発表（プレゼン）授業を想定し、廊下面を開放できる「引き戸式学校間仕切」の開発を頑丈なスチール製と、あたたかみが感じられる木製のそれぞれで進めています。

納入事例

株式会社アーキ・ジャパン 様（FLOAT DP-60S）

株式会社パーティション大栄 様（BRIDIA）

埼玉スタジアム 2002 様（CB-ACR）

野村不動産株式会社 様（Xis）

伊丹市役所 様（C&L）

株式会社ワイ・デー・ケー 様（Ricola）

株式会社愛洋産業 様（KOUSHI・BRIDIA）

ボールトゥウィン株式会社 様（Xis）

東京都市大学 様（DP-60S）

渋谷区文化総合センター大和田 SATORI株式会社 様（Remote cabin）

06/06

コマニーのこだわり

1 日常に安心をお届けする

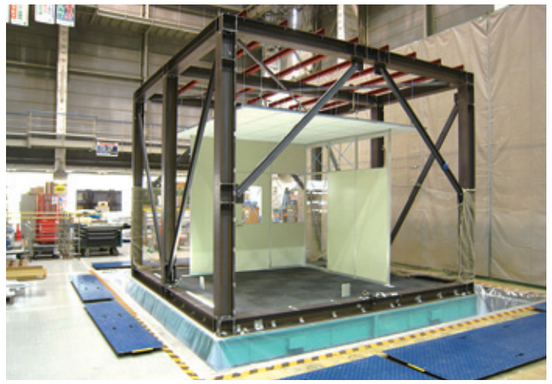
私たちはお客様に安定した品質・機能を持つ商品をお届けすることを追求しています。
そのため国内基準よりも厳しい社内基準を定め、
社内試験を実施し、基準に適合した製品開発を行っています。

安全への取り組み

Synchron シンクロン

新しい発想から生まれた、高耐震間仕切

業界初。パーティションと天井との関係性に着目した、
シンプルで経済的、実効性の高い耐震システムが誕生しました。



〈震度7 三次元加振試験 実験映像〉を動画でご覧いただけます。
https://www.comany.co.jp/videoarchives/synchron.html

強さを生み出す、新開発の“つながりジョイント”

耐震実験を繰り返し、形状や板厚・材質を最適化した「つながりジョイント」。パーティションに適正設置することで、しなやかな強度が生まれます。

汎用性が高く導入しやすいSynchron

シンクロンは当社の従来製品に装備できるので、既設製品の耐震性を高めることも可能です。導入にあたってレイアウト制限はほとんどなく、現在のパーティション同様にご使用いただけます。

各性能試験

走行試験

〈品質試験への取り組み〉を
動画でご覧いただけます。
https://www.comany.co.jp/videoarchives/inspection.html

不燃試験

定期的な不燃性能確認や、材料・工程の変更に対しても不燃性能を確認することで、防火・耐火の製品開発に活かし、認定取得を行っています。

走行試験

移動壁用の走行装置のエンド部分に繰り返し衝撃を加えることで日常の使用から生じる各部位の破損状況や、走行性能の変化を確認しています。

環境試験

空間が乾燥・湿潤状態に変化することで生じる間仕切の反りによる可動状態・表面状態に使用上・意匠上の問題の有無を確認しています。

魅せる施工

魅せる施工とは、人間力・技術力・身体を鍛え、気遣いのある作業環境を整備した施工体制のことです。
お客様に感動していただくことを目指した当社独自の考え方です。

※魅せる施工とは旧スマート施工のことです。

服装・挨拶

清潔感ある身だしなみや明るい挨拶を徹底。客観的な目でお客様からの印象に配慮しています。

安全

安全を確保するため、有資格者による施工、送り出し教育を徹底。作業ルールの順守、自身は勿論、周辺への安全配慮、作業後の整理清掃も徹底しています。

用具

安心・安全で正しい用具の使用を徹底。作業現場の環境整備に気遣うことで作業効率を高めます。

品質

部材・パネル等の品質管理、施工手順の順守に加えて、施工完了後の自主検査とお客様への確認を徹底しています。

06
06

コマニーのこだわり

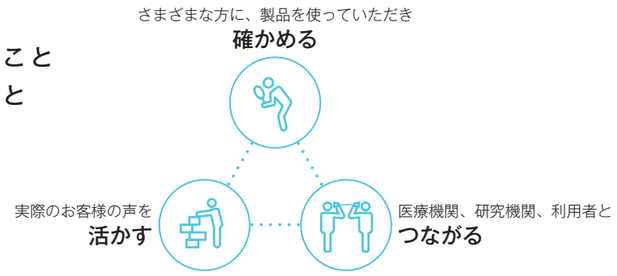
2 やさしいをカタチにする

人にやさしいものづくりを目指し、すべての人が便利に、快適に使える商品をご提供するために、
ユニバーサルデザインの研究を続けています。
特に実証実験にこだわり、さまざまな方からいただいた具体的なご意見を
製品開発や空間提案に活かしています。

ユニバーサルデザインへの取り組み

❶安心して使えること
❷無理な体勢にならないこと
❸誰もが快適に使えること
❹選択できること

4つの原則を大切に
ユニバーサルデザインに
取り組んでいます。



みんなにやさしく

Dear-d（ディアード）

コマニーはユニバーサルデザインを15年以上研究しており、商品化へとつなげています。障害のある方へのバリアフリーだけでなく、妊婦や大きな荷物を持った方など、すべての利用者がストレスなく利用できることを目指しています。そのため、商品開発にあたってはワークショップなどを通して、当事者の生の声を活かしています。そうして誕生したユニバーサルデザイントイレ「Dear-d（ディアード）」。健常者・障害者とも使いやすいトイレとして国内主要空港に採用され、2016年にはグッドデザイン賞を受賞しました。

Dear-dは成田国際空港、東京国際空港、オリンピック競技場などの大型施設をはじめ、数多くの医療・福祉施設などに採用されています。

GOOD DESIGN AWARD 2016

グッドデザイン賞審査委員会の講評

公共の設備は健常者のために考えられており、障害者用の設備は特別な物が多い中、本来はどんな人でも同じように使用できるように考えるのがＵＤである。このトイレブースは見た目には一般のトイレと変わらないが、障害者が健常者と同じように普通に使える機能を備えている。使い勝手が細かく考えられており、実際に検証を重ねすべての人に使いやすいようになっているところがすばらしい。

やさしいへのこだわり

やさしいドアシリーズ

病院・福祉施設が無機質な空間では、患者様、入居者の皆様、そこで働く人々の心が明るくなりません。私たちはすべての人々が、明るく、元気になれるような「やさしい」間づくりを目指し、日々、納入後訪問を通じて、お客様の声を聞き、お客様に喜んでいただける商品・サービスづくりを行っています。私たちは「やさしい」にこだわり、努力し続けます。

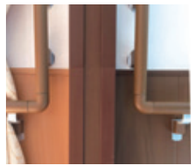
GOOD DESIGN AWARD 2019

グッドデザイン賞審査委員会の講評

医療施設や福祉施設などにおいて、患者や入居者が安心感や温かみを感じられるよう、長期にわたって利用者の意見を聞き取って検討を続けてきたことが理解できる。基本的にはスライドドアを木製としたことが特徴であるが、それ以外にも利用者の意見から様々な工夫を取り入れ、製品バリエーションが拡充されてきた。今回の審査では、シリーズ全体としての製品開発の取り組みが高く評価された。

お客様の「もっと温かい感じのドアがほしい」というご要望から生まれた木製不燃ドアです。

ポケット
グループホーム等の入居者の方が自分の部屋を認識しやすくするためにつくられたポケットです。



枠
「ドアだけでなく、ドアの枠も良くなってほしい」というご要望から生まれた、キズがつきにくい枠です。

サムターン
手触りが良く操作がしやすいやさしいサムターンです。

ロック
入居者の方がぐっすり眠れるようにという願いを込めて、カギの開閉音を最小限にしたロックです。

トイレのオールジェンダー利用

誰もがストレスなく利用できるトイレ環境の実現を目指して、2017年度から性的マイノリティ（LGBTQ+）にも目を向け、金沢大学、株式会社ＬＩＸＩＬと産学共同で研究会を発足させ、一人でも多くの人がより安全に快適に使いやすいトイレ空間づくりを目指し活動しています。

2017年にはオフィスで働く3万人を対象とし、トランスジェンダー（※1）の割合や就業状況、オフィスにおけるトイレの利用実態、およびシスジェンダー（※2）のトランスジェンダーに対する意識などについて調査をしました。

さらに2022年には、この５年でのシスジェンダーのトランスジェンダーに対する意識の変化を調べるため、新たに調査を行いました。この調査では、オフィストイレに加えて公共トイレの利用実態についても調査を行っています。

トイレ利用は、人間の尊厳にも関わる人権の一つです。障害の有無や性のあり方などに関わらず、誰もが安全に安心して使える快適なトイレ環境の実現を目指し、これからもトイレのあり方を追求していきます。

※1　出生時に付けられた性別と性自認が一致しない人の総称。
※2　出生時に付けられた性別と性自認が一致し、それに沿って生きる人。トランスジェンダーではない人。

06/06

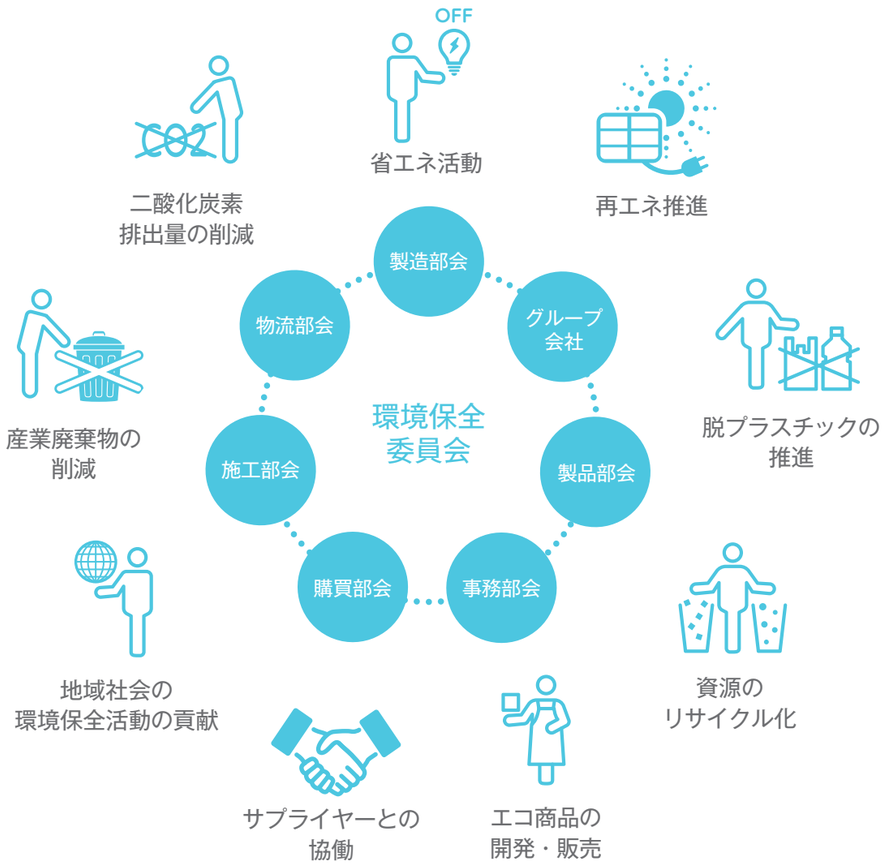
コマニーのこだわり

3 地球の未来を考える

私たちは、「パーティション」そのものが持つ優秀なエコ特性をより活かしていくため、
すべての企業活動を厳しい目でチェックしながら、
地球環境保全のためのさまざまな取り組みを実践しています。

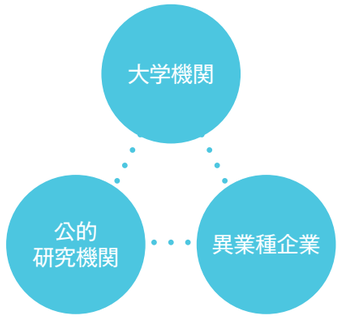
環境マネジメント体制

コマニーは **製造・物流・施工・購買・事務・製品・グループ会社** の7つの部会による
「環境保全委員会」を中心に環境保全活動を進めています。



4 新たなチャレンジを続ける

お客様のニーズは常に変化し続け、世の中の技術も進化し続けています。
そのお客様の多様なご要望にお応えし、商品付加価値を向上させるために、大学機関や公的研究機関、
異業種企業などと共同研究を行い、基礎技術を蓄積するとともに、
新しい技術・応用技術に対して常にチャレンジしています。

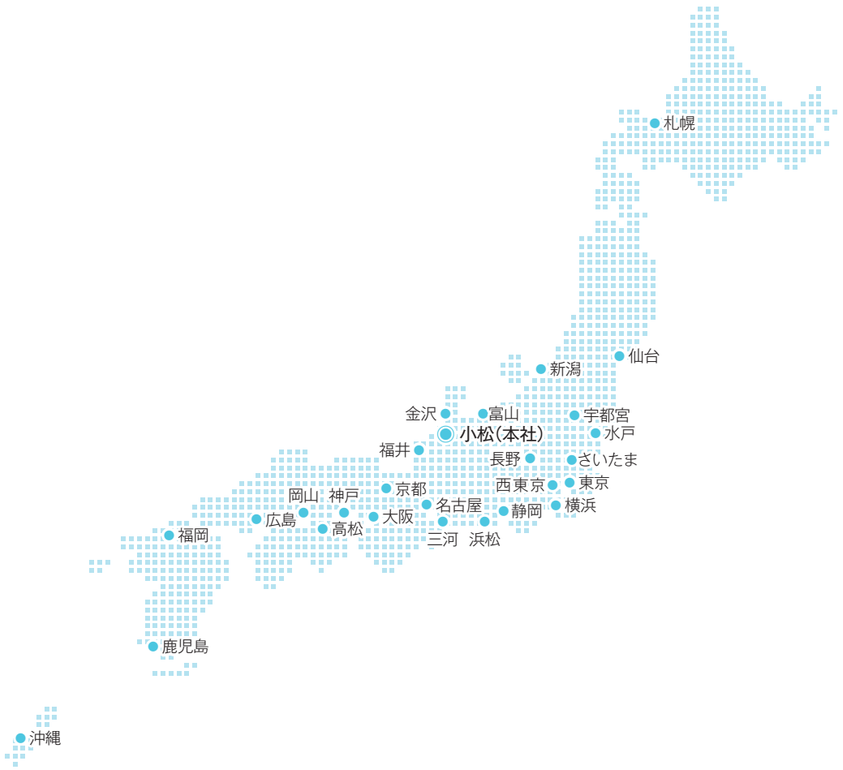


5「いいね」をプラスする

コマニーでは新たにお客様の五感に訴えるものづくりを推進しています。
プロダクトデザインの視点を製品開発プロセスの中に取り入れ、
快適性や機能性を加えることで、人の感性に届く製品づくりを目指しています。

■販売ネットワーク

国内27 拠点
充実の販売ネットワーク



販売ネットワークの詳細は弊社ホームページをご覧ください
[URL]https://www.comany.co.jp/company/network/

本社工場

ゲストハウス　151-A

■会社概要（2022年12月31日現在）

■商　　号	コマニー株式会社 COMANY INC.
■本　　社	石川県小松市工業団地一丁目93番地
■本社第一工場	石川県小松市工業団地一丁目95番地
■本社第二工場	石川県小松市工業団地一丁目97番地
■本社第三工場	石川県小松市工業団地一丁目105番地
■本社第四工場	石川県小松市工業団地一丁目105番地2
■設　　立	1961年8月18日
■資　本　金	100百万円
■売　上　高	24,475百万円（2022年12月期）
■従業員数	連結：1,202名 単体：1,056名
■営業品目	・建築工事業 国土交通大臣許可（特-1）第3669号 ※本社、クリーンルーム事業部、特販営業本部のみ許可あり ・内装仕上工事業 国土交通大臣許可（般-1）第3669号 ・建具工事業 国土交通大臣許可（般-1）第3669号
■取引銀行	北陸銀行、北國銀行、みずほ銀行 三井住友銀行、三菱UFJ銀行、日本政策投資銀行

■役員（2023年3月24日現在）

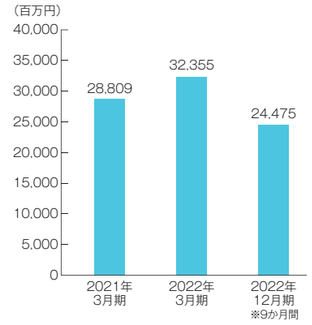
代表取締役 会長執行役員	塚本　幹雄
代表取締役 社長執行役員	塚本　健太
取締役 常務執行役員	東木　太志
取締役 常務執行役員	塚本　直之
取締役 常務執行役員	田中　克政
社外取締役	大久保制宇
社外取締役	黒木　潤子
社外取締役	榊原　健郎
常勤監査役	元田　雅博
社外監査役	松垣　哲夫
社外監査役	鎌田　竜彦
副会長執行役員	塚本　清人
常務執行役員	中島　　力
常務執行役員	伴場　秀文
執行役員	芋塚　　務
執行役員	村上謹士郎
執行役員	山﨑　昌樹
執行役員	中嶌　大樹

■財務データ（単体）

※2022年12月期は、決算月の変更に伴い、4月から12月の9か月間の数値を掲載しています。

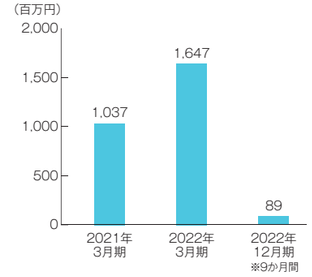
売上高

244億75百万円



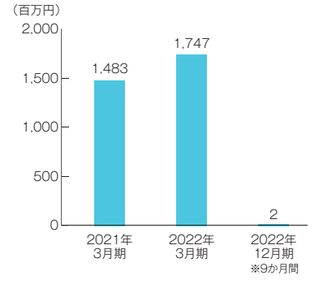
営業利益

89百万円



経常利益

2百万円



■沿 革

1960

1961 小松キャビネット(株)設立

スチールキャビネットの製造を目的に設立。
石川県小松市在住の経営者8名で出資。資本金300万円で開始。

1962 キャビネットからスクリーンの販売へ

1965 生産品をパーティションに一本化

1970

1969 アルミパーティションの開発

1970 (株)コマツパーティション工業に社名を変更

1980

1980 売上高が業界第一位を記録

1981 全社的品質管理活動(TQC)を導入

1984 コマニー(株)に社名変更

新しいコマツパーティション=COMATSU+NY(=New、新しい)から。COMANYへ社名を変更。コマツの頭文字は本来Kになるが海外でも通用するように、英文の綴り字習慣にあわせてCを使用。
(写真は当時の社内報)

1985 デミング賞実施賞中小企業賞を業界で初受賞

1990

1989 名古屋証券取引所市場第二部上場

1993 PM(プロダクティブ・メインテナンス)活動を導入

1995 第一回施工技能大会を開催

1996 TPM優秀賞第一類受賞
格満林国際貿易(上海)有限公司設立

1999 TPM優秀継続賞第一類受賞
ISO9001認証を取得

2000

2001 ISO14001認証を取得

2002 ユニ・ハートス(株)(現・ユニ・チャーム(株))より
クリーンパネル事業を取得

2005 本社第一工場を増設し、粉体塗装設備を導入

2007 南京捷林格建材有限公司を子会社とする

2009 野球部天皇賜杯
第64回全日本軟式野球大会 準優勝

2010

2011 ブラスバンド部「ブルーリアン」結成

2015 東京証券取引所市場 第二部に上場

2018 コマニー SDGs 宣言
国連グローバル・コンパクトに署名

2019 「くるみん」認定取得

小松市(SDGs未来都市)と
「SDGs推進に関するパートナー協定」を締結

「再エネ100宣言 RE Action」に加入

東京オフィスに「コマニーラボ」開設

グリーン購入大賞(大企業部門)受賞

2020

2020 JMAQA AWARDS 2020受賞

「Science Based Targets(SBT)」
イニシアチブから認定を取得

2021 「女性のエンパワーメント原則(WEPs)」
に署名

健康経営優良法人2021認定

創立60周年記念式典

2022 CDP2021
サプライヤー・エンゲージメント・リーダーに選定

TCFDへの賛同を表明

健康経営優良法人2022(ホワイト500)を認定取得

KAIKA Awards 2022
KAIKA大賞を受賞

東京証券取引所スタンダード市場から上場廃止

2023 CDP2022
サプライヤー・エンゲージメント・リーダーに選定

健康経営優良法人2023認定

環境省30By30への賛同を表明

TNFDへの賛同を表明

「間づくり研究所」を開所

さぁ、新しい物語を
はじめましょう。

コマニー株式会社
〒 923-8502　石川県小松市工業団地一丁目 93 番地　　TEL 0761-21-1144（代）

第 6 版　○この冊子の内容は 2023 年 6 月現在のものです。

B1905-⑥・1-1000